

清流の息吹を訪ねて
珍客・ウナギ(前編)

このコーナーは、市内山ノ内での釣りに関するアドバイスなどを行う(株)フィッシュナビの代表で、「魚の専門家」の八島洋二さんからご寄稿いただいています。

前回は盛夏のアユについてお話しましたが、夏の神戸川でアユの撮影をしていると、カメラのファインダー越しに思いがけない珍客が入り込むことが多々あります。

ウナギもその一つで、予期せぬ出



大好物の甲殻類(カニ)を捕らえるウナギ

現にいちいち驚かされますが、同時に生物の豊かさを感じさせてくれます。ここ神戸川には、アユをはじめ、多くのハゼの仲間、モクスガニや手長エビなどの甲殻類が生息しておりますが、これらが生息する川には、ほぼ100%の確率でウナギもいると考えてよいでしょう。

特にこれら魚同士に密接な関係はありませんが、川と海を往来する点では生活史が共通しており、ちゃんと海と川を往来できている証拠でもあります。

そして何よりも、またこれらの多彩な生物が生息している事で、水質の良さが裏付けられ、またウナギにとつて最高の餌場をもたらしてくれていることが分かります。

次回は、大衆的で誰もが知っているウナギの知られざる私生活についてご紹介します。